

いっぱん質問

竹田 努 議員



問 新幹線開業 町民の気運を高める方策は

答 カウントダウンボードの設置を検討 —— 町長

質問 平成28年3月の北海道新幹線開業に向け、12月1日から試験走行も始まり、夢の実現が迫ってきています。

また、北海道新幹線関連事業も着々と行われており、他町から見ればうらやましいと思われるほどの多くの事業を行っています。町全体の気運としてはどうでしょうか。木古内町をどうPRして訴えていくのかが見えません。

写真入りの大型看板の設置等があれば、町全体・町民の気運も高まるのではないかと思います。町長の見解をお聞きます。

大森町長 去る12月2日に町民が待ち望んだ北海道新幹線の車両が姿を現し、いよいよ町も「新幹線のまち」ということで、夢の第一歩を踏み出しました。

町では、新幹線効果を開業当初から地域に引き入れることを目的に、近隣町との連携した広域観光、はこだて和牛を活用した食のメニューづくりや駅周辺の開発整備など、多岐にわたる事業を展開してきました。新年度は、これらの成果を内外に向けて強くPRしていく発信の年にしたいと考えています。

現在、開業記念事業実行委員会においてワークショップを開催するなど、新幹線への

期待感を徐々に盛り上げていくための、様々なアイデアを検討しています。

事業の開始は来年度からとなりますが、町としても、できるものは前倒して取り組んでいきたいと考えています。

また、町内業者と連

携を図り、駅前に大きなカウントダウンボードの設置を検討しています。

今後とも、新幹線事業の集大成となる来年度に向けて、様々な取り組みを機動的に展開していきたいと考えています。



北海道新幹線H5系車両木古内駅試験走行歓迎セレモニー
今後、新幹線開業まで様々なイベントが開催されます